



2017年5月10日

各 位

上場会社名 株式会社神戸製鋼所
代表者 代表取締役会長兼社長 川崎博也
(コード番号 5406)
問合わせ先 秘書広報部長 楠山泰司
(TEL03-5739-6010)

真岡製造所における自動車用アルミパネル材製造設備の増強について

当社は、このたび日本市場における自動車用アルミパネル材（以下アルミパネル材）の需要拡大への対応として、真岡製造所（栃木県真岡市）に、アルミパネル材専用の熱処理・表面処理設備の増強を行うことを決定しました。総投資額は約 200 億円で、2020 年からの稼働開始を目指して今年度中に建設着工の予定です。

[設備投資概要]

投資額 : 約 200 億円
設備 : 熱処理設備と表面処理設備
生産能力 : 年間 10 万トン
稼働時期 : 2020 年 1 月 (予定)

世界的な環境規制の強化を背景に、車体の軽量化ニーズが高まっており、日本市場（中国以外のアジア含む）におけるアルミパネル材需要は、当社推定では足下の年間約 4 万トンから、2025 年には 30 万トン以上へ、大幅な拡大が見込まれています。

当社は、アルミパネル材需要の伸長を見込み、1980 年代から材料開発、解析／設計、加工／接合などの技術開発を進めてきました。それらの技術を活用したトータルソリューションを提案することで、日系自動車メーカーをはじめ各社から高い評価を得ており、国内のアルミパネル材市場でトップサプライヤーとしてのポジションを築いています。また、海外においては、中国でアルミパネル材専用の製造拠点である神鋼汽車鋁材（天津）有限公司を設立し、昨年 1 月より稼働させています。

今回の対応により、日本・中国を含むアジア向けに高品質のアルミパネル材を安定的に供給する体制を構築することで、当社はこれからもお客様のご要望にお応えして参ります。

以上